林業普及現地情報
2017-18 号（通算 331 号）
平成 29 年 9 月 14 日
県北広域振興局林務部
記述者　佐々木　仁

「炭焼き談義」の開催

1　はじめに

県北地域は、全国の黒炭生産の４割を占める日本一の炭の里であり、木炭生産が県北地域の林業生産額の２割を占める重要な産業となっています。

県北広域振興局林務部では、木炭生産者の生産意欲を高めるために「炭焼き談義」（懇談会）を開催したので、その概要を紹介します。

2　「炭焼き談義」の概要

(1) 主　催　　県北広域振興局林務部
(2) 対　象　　久慈、洋野、軽米、九戸地域の生産者（出席者約 40 名）
(3) 内　容

講師に農林水産省６次産業化ボランタリープランナー及び内閣官房 地域活性化伝道師を務める志村尚一氏（(有)ウィルビー代表取締役）を迎え、下記のとおり開催しました。

月日	時 間	開催場所	対象地域	内　容
8/29	13:00~16:00	九戸	軽米 九戸	・講　義 ・意見交換 ・意見集約
8/30	13:00~16:00	洋野	久慈 洋野	

写真　炭焼き談義の様子

〈講　義〉

講師から、自らが西和賀町第三セクターゼネラルマネージャーとして、地域資源を活用し地域活性化に取り組んだ事例等についてのお話をいただきました。

〈意見交換〉

講師との意見交換において、生産者の方から以下の課題が挙げられました。

・生産者間での交流が少ない。
・生産技術を向上させたいが、研鑽の場や様々な焼き方を試す余裕がない。
・家業を継いで炭焼きをはじめたが、需要が減少している中、将来どうなるか不安

〈意見集約〉

講師から、地域づくり・木炭振興について、以下のアドバイスをいただきました。

・地域の活性化のためには、業種・年齢を超えた人との繋がり・協働が必要
・若者がこれから就業して、生業として成り立つための仕組みづくりが課題であり、その解決のためには、再生産する意欲が湧く価格を維持し続けることが重要
・関係者と繋がりながら、消費者の共感を得る取り組みが求められている。

3　おわりに

「炭焼き談義」の開催を通じ、出席者間において、課題等についての情報共有が図られるとともに、前向きに課題解決に取組む機運が醸成されました。

今後も、木炭振興のため、生産者組織が行う木炭新規ユーザー開拓に向けた取組み及び若手生産者を対象にした生産技術向上のための研修会開催等を支援していきます。